

なんこく 市議会だより

No. 114

令和7年(2025年) 8月号



主 な 内 容

《6月定例会》……………P2～3

一般会計補正予算

2,035万4,000円の増額

・概要、市政報告、

主な可決議案、議員表彰

《一般質問》…………… P4～12

《常任委員会視察レポート》……P13

《議決結果一覧》……………P14

《政務活動費の報告》……………P15

《なんこく歳時季 巻29》……P16

・やなせライオン公園の噴水

◆ 表紙写真 ◆

7月5日、土曜市では七夕祭りが開催されました。七夕飾りや願いが書かれた短冊で彩られた場内は、ライブステージのほか、輪投げやヨーヨー釣りコーナーなどもあり、来場者は楽しんでいました。

発行／南国市議会

E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会

南国市大堀甲2301

TEL 088-880-6570

FAX 088-864-3281

第440回 6月定例会



一般会計補正予算2,035万4,000円 の増額

公共交通の維持、 施設園芸燃油高騰対策に補助

◆ 概 要 ◆

第440回市議会定例会は、6月6日から19日までの14日間の会期で開かれました。市長提案の議案16件、報告13件の審議を行い、全議案を可決・同意・承認しました。また、議員より意見書9件が提出され、審議の結果、6件を可決し、3件を否決しました。

6月定例会初日、市長より、市政報告が述べられた後、今議会へ提出された議案等の提案理由が説明されました。

10日から13日までの4日間は、16名の議員が、市長や教育長、関係課長に対し、防災、教育、子育て、観光などについて一般質問を行いました。

16日には、提出議案等に対する質疑を行った後、人事議案1件と報告4件の採決を行い、いずれも全会一致で同意・承認し、その他の議案を所管の常任委員会へ付託しました。

17日には、総務、産業建設、教育民生の各常任委員会で付託議案の審査を行いました。19日の閉会日には、各常任委員長から審査結果の報告の後、採決に移り、全付託議案を全会一致で原案のとおり可決しました。

また同日には、議員から9件の意見書が提出され、「事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書」「地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書」「米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書」「米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書」の4

件を全会一致で、「給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書」「消費税減税、インボイス制度廃止で暮らしと営業を守る意見書」の2件を賛成多数で、それぞれ可決し、「国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書」ほか2件を賛成少数で否決し、閉会しました。

(議決結果一覧は14ページ参照)

市議会だより前号の訂正とおわび

市議会だよりNo113(令和7年5月号)の2ページの見出しに誤りがありました。訂正し、おわびいたします。

誤「平成7年度末、新図書館完成へ」

正「令和7年度末、新図書館完成へ」

◆ 市政報告 ◆

住民基本台帳を基にした高知県の推計によりますと、4月1日現在の高知県の人口は64万8313人であり、初めて65万人を下回りました。県は人口減少対策のマスタープランである高知県元氣な未来創造戦略に「賢く縮む4Sプロジェクト」を新たな視点として追加し、その一環として、消防需要の高まりへ対応するためにはサービスの効率化と充実が必要であるとして消防の広域化を掲げました。

た。本市としましては、これまでの消防団との関係や財政負担、消防職員の処遇など広域化には多くの課題があると考えており、拙速な結論に至らぬよう、引き続き、検討会での協議を続けてまいります。3月31日から連続テレビ小説「あなぱん」の放送が始まりました。放送に合わせて、物部川エリアでの観光博覧会「ものべすと」のオープニングイベントを3月29日に香美市、翌30日に本市と香南市で開催するとともに、31日には地域交流センターIMIARE!で初回を見る会を開催いたしました。これらのイベントには、多くの方に御来場いただいております。今後も引き続き、物部川エリアの3市長を共同代表とした観光博覧会実行委員会での取組や、市内の観光関連事業者や団体等との連携

◆ 主な可決議案 ◆

議案第1号

一般会計補正予算
歳入歳出補正予算の規模は2035万4000円の増額計上です。主な歳出は次のとおりです。

- ▽総務費関係／交通関係事業費
- ▽農林水産業費関係／農業振興育成補助金等事業費

議案第4号

公園条例の一部を改正する条例
一般公園等として供用している浜改田物流公園について、都市公園として供用を開始し

たこと並びに新たに一般公園としてやなせライオン公園を、緑地として久礼田比江産業団地緑地及び双葉台木材工業団地緑地を追加することから、本条例の一部を改正するものです。

議案第13号

市立図書館建設工事
建築主体工事請負契約を変更する契約の締結について

新図書館の建設に係る工事について、岸之上・日之出特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結していますが、屋根の部材変更、家具の設置に係る工事の追加等に伴い、契約金額を5270万1000円増額し、12億2970万1000円とする変更契約を締結することから、議会の議決を求めるものです。

議員表彰

四国市議会議長会表彰
全国市議会議長会表彰



四国市議会議長会表彰
《特別表彰》

◆議員16年以上
有沢 芳郎 議員

全国市議会議長会表彰
《感謝状》

◆評議員
岩松 永治 議員



執行部に問う

一 般 質 問



南国市議会 YouTube
これまでの議会中継も
御覧になれます

6月定例会では、防災・子育て・教育・観光など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約して紹介します。

◇6月定例会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

- 1 **今西忠良** ①保育行政（保育所保育指針、働き方改革と処遇の改善、保育所・園の管理と運営、所長会、職員の資質向上と研修等）②公立中学校部活動の地域移行③マイナ保険証と資格確認書の送付
- 2 **西山明彦** ①市長の政治姿勢（3期目に向けて、財政運営〔歳入確保、ふるさと納税、受益者負担〕）②道路行政（市道認定、安全確保）③消防行政（消防本部の県一化）
- 3 **丁野美香** ①インクルーシブ公園（公園整備）②自主防災組織（現在の状況、活動への取組）③終活支援（支援状況、終活情報登録事業）
- 4 **前田学浩** ①DX推進（アクションプランの進捗状況確認、市の総合計画を他自治体に倣ってAI〔人工知能〕での作成検討）
- 5 **山本康博** ①DX推進による電子申請の充実とAIの活用で効率化とコスト削減を②学校給食無償化における質と量の確保のための財源問題
- 6 **山中良成** ①RSウイルス感染症（費用助成）②観光行政（あんぱん・ものべすと効果、広報方法、のぶと嵩のおらんく展、アフターあんぱん）③ICT教育（これまでの成果と実績、これからの将来像、タイピングほか提案）
- 7 **杉本理** ①マイナ救急消防本部実証事業②市中心部に憩いの場を③平和行政④重層的支援体制整備事業⑤防災
- 8 **西内俊二** ①就学前の発達健診及び特別支援②土佐のまほろば祭り
- 9 **植田豊** ①乳幼児・妊産婦の避難所環境②避難所の混雑を可視化③新総合防災情報システム（SOBOWE B）導入④スマホ教室の令和7年度実施状況⑤クーリングシエルトの令和7年度設置予定
- 10 **斉藤正和** ①介護人材の確保と定着（高額な人材紹介手数料の影響、事業所を越えた職員の交流と情報交換の場）②小中学校の安全確保（不審者対応、防犯体制）
- 11 **有沢芳郎** ①南国市の都市計画（市街化調整区域の問題点、日章産業団地周辺に住宅はできないか）②総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度（第3期スポーツ基本計画、登録・認証制度がもたらす効果）
- 12 **溝渕正晃** ①防災対策（災害に強い南国市、舟入川河川改修の進捗）②子育て支援（きょうだいで別保育所・園に通っている家庭数、きょうだいで通える保育所・園の提案）③農業振興（南国市における農業振興）
- 13 **松本信之助** ①パートナーシップ登録制度（結婚新生活支援事業費補助金）②公園整備（インクルーシブ公園、公園の遊具設置）③保育士の労働環境（人員、パソコン整備、駐車場整備）④マイナンバー（更新手続、DX政策、係設置）
- 14 **松下直樹** ①防災対策（津波避難タワー）②国営園場整備事業③給食費無償化
- 15 **斉藤喜美子** ①防災（命を守る行動を取るために、直接死と災害関連死を防ぐ、地域のつながりで防災力向上を）②消防（高知県消防広域化基本構想）③観光（連続テレビ小説「あんぱん」の効果、「御免与町」とあんぱん、放送終了後の南国市の観光）
- 16 **神崎隆代** ①連続テレビ小説「あんぱん」（お土産品開発、豊富な歴史的資源への誘客）②環境行政（地球温暖化対策、廃食用油のリサイクル、マイクログラスチックの流出を防ぐ）③行政のDX④人口減少対策

今西忠良 議員



保育所長・園長の
責務と専門性の向上

る。また、各種研修を通じて、講師からの学びや他園との情報交換により保育の質の向上を目指すことが必要で、研修に関する役割としては、研修計画の策定、講師や研修内容の選定を行っている。

部活動地域移行のメリット、デメリット

問 保育所長・園長は、保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢等も踏まえて、長として当該保育所・園における保育の質及び職員の専門性の向上を図らなければならない。その責務を問う。

答 保育所長・園長は、子供たちの健やかな成長を支え、保護者が安心して子育てできる環境を提供する上で、極めて重要な役割を担っており、保育所・園の運営管理、保育計画の策定と実施、保育の質の向上、職員の専門性の向上を行う責務がある。

問 令和5年度以降、部活動の地域移行がスタートした。スポーツ環境を整備し、子供たちがそれぞれに適した環境で、スポーツに親しめる社会を構築することを目的に今日まで進めてきた。地域移行に当たってのメリットとデメリットを問う。

答 部活動の地域移行は、生徒たちのスポーツ活動の機会の保障と、教員の働き方改革という2つの側面から推進している。

メリットとしては、専門性の高い指導の充

実と競技力の向上や、多様な種目選択の可能性の拡大、地域コミュニティとの連携強化と交流の促進、教職員の業務負担軽減と学校運営の改善、地域におけるスポーツ文化の醸成と生涯スポーツへの接続などが挙げられる。

デメリットとしては、指導者の確保と質の維持、活動場所や環境の確保と管理、経済的負担の増加と公平性の確保、生徒指導機能の継承、学校との連携不足や情報共有の課題、競技団体によって異なる大会出場規定への対応などの複雑さがある。

本市としては、これらのメリットを最大限に生かしつつ、デメリットとして挙げられる課題に対しては一つ一つ丁寧に向き合い、解決策を講じていく。

西山明彦 議員



道路の安全確保

問 市街地内では、道路が改良されて路面整備や幅員拡張により、徐行せず交差点に進入する車が増え、危険な交差点・通学路が多い。市の対応を問う。

答 市内全域の小中学校周辺の危険箇所の対策として、南国市小中学校通学路安全対策連絡協議会を開き、各学校から危険箇所をピックアップし、関係機関で安全対策を検討している。また、市民からの通報、要望により、カーブミラー、飛び出し看板、路面標示等に対応している。

問 新川雨水排水枝線工事により道路が見た目は広くなったが、一

部は水路であり道路標識や一時停止線がない。安全対策を求める。

答 道路改良により道路幅員が同じような幅で広がっており、ドライバールから見ると優先道路が分からなくなっている。まず、優先側がどちらかを認識してもらうためにラインを設置すること、カラー舗装、注意を促す飛び出し看板を設置し、事故を未然に防ぐ対策に努めたい。

消防本部の県一化

問 「第1回あり方検討会」が開催されたが、議論の内容を問う。

答 県の進める基本構想案を、パブリックコメント等での意見を踏まえて一部修正したとの説明があった。それに対し、各自治体の財政負担や職員の処遇、組織体制に関するシミュレーションが具体的に示されておらず、判

断できないとの意見が出された。県は、各消防本部の予算や消防力、組織運営等に関するデータを調査しているが、集約したものを少しでも早く示し、広域化のメリット、デメリットが明確になるよう努めるとの説明だった。

問 南国市は消防本部と消防団との緊密な関係が保たれている。この状況を損なうようなメリットのない県一化なら離脱・撤退も必要だと思うが、市長の考えを問う。

答 広域化により、消防団員との連携は心配するところだ。広域化にメリットがあるか、現時点ではまだはっきり分らない。各自治体の財政負担や職員の処遇がどうなるのか、組織体制のシミュレーションがはっきり示された後の判断でも遅くはないと思っている。

丁野美香 議員



インクルーシブ公園

問 市内の公園について、どのような方針で整備をしているか問う。

答 公園整備の基本方針は、市民の憩いや交流、子供たちの遊びやレクリエーション、災害時の一時的な避難場所などの機能を損なうことがないよう、定期的な公園施設の維持管理に努めることにより、安心して気持ちよく利用していただける公園機能の維持を最優先に考えている。また、新たな整備を含めた各種公園施設の設置要望には、必要性や整備の財源などを考慮した上で、整備に向けた検討を進めていくこととしている。

問 インクルーシブデザインを取り入れた公園整備への考えを問う。

答 近年、年齢や障害の有無にかかわらず、全ての子供や市民が自由に一緒に楽しめるインクルーシブデザインの理念は、非常に重要だと認識している。今後の公園整備に積極的に取り入れ、多様なニーズに応える公園づくりを検討していく。

問 今後のインクルーシブデザインの導入について、市長の考えを問う。

答 年齢や障害の有無にかかわらず、全ての市民が安心して利用できる公園づくりは、これからの公共空間に求められる大切な視点だ。公園の新設や改修の際には、インクルーシブデザインの考えを、計画や設計の段階から取り入れていくことを検討したい。

自主防災組織

問 市の自主防災組織の結成率を問う。

答 令和7年4月1日時点で96・5%である。

問 活動内容の地域格差の調整をしているか。

答 活動内容は、地区防災連合会の活動を通じて傘下の自主防災活動の充実を図ることや、要請に応じて各地区防災会に対する防災学習や訓練指導などを実施することで、一定レベルを担保し、地域格差の解消に努めている。

問 助成金や補助金の活用はされているのか。

答 各地区で、備蓄食料や資機材の整備等に活用されている。

問 各地域での防災リーダーの育成を求める。

答 毎年、各地区の自主防災組織の要請に応じて防災学習や訓練指導を行うほか、年1回、自主防災組織リーダー育成研修を行っている。

前田学浩 議員



DX推進計画の進捗

問 市は、国・県の施策に沿って、令和2年に「自治体DX推進計画」を策定。デジタル技術の活用により、住民サービスの向上、事務手続きの効率化を推進する目的で各アクシオンプランを立ち上げている。その中で、公式LINEの申請数の現状と今後の対策について伺う。

答 公式LINEの友達申請数は、令和4年度末の342人から、令和5年度末は3971人、令和6年度末は6091人、令和7年6月5日現在6538人となっており、継続して増加している。広報なんこくや、今年3月にリニューアルした市公式ホームページにおいても、市公式SNSの登録を訴求しており、今後も広報、ホームページと連携した情報発信を行い、多くの皆様に認知していただく努力を重ねていく。

AIによる総合計画

問 近年、AI（人工知能）を使った政策立案を実施している基礎自治体が出てきている。AIは大量のデータがあればあるほどその中に規則性を見いだし、結果を予測することなどに威力を発揮する。市の総合計画を立案するに当たり、AIを活用することを検討しているかどうか。

答 AIの進化は目覚ましく、多様なデータ分析やシミュレーション能力は、これまでの計画策定に大きな変革をもたらす可能性を秘

めていると感じている。ただ、今回の策定に当たっては、これまでに実施したアンケート調査やワークショップ、また各分野の計画や統計データなどから、本市にふさわしい幾つかの将来パターンを作成し、それをベースに計画を策定していく予定である。AIが持つ膨大な情報処理能力と、客観的なデータ分析力には目をみはるものがあるが、今回は現在の受託事業者の専門的な知見や、多様な視点での提案に期待をしている。

総合計画は、市の将来を指し示す重要な計画であり、その策定方法については、常に最適な手法を選択していかなければならないと考えているので、AI活用についても模索していきたい。

山本康博 議員



DX推進とサービス向上

問 市民の利便性向上や、勤労者等が来庁不要となる電子申請の拡充は急務。決済まで含め、オンラインでできない現状の課題は何か。

答 現在オンライン申請ができる南国市電子申請サービスは、県が提供する共同利用システムで、市が独自にホームページに決済機能等を実装するよりも経済的で効率的だ。令和4年度に料金の収納ができる機能を導入し、戸籍証明の発行申請に利用しているが、その他の業務にも、利用可能と思われるものには導入を進めたい。

問 AIの活用は、で

きることから至急始めるべきだ。市長のビジョンと時間軸を踏まえた未来像を問う。

答 住民がデジタルとともに便利で安心して心豊かに暮らせる社会の実現のため、引き続き研修をはじめとする人材育成に努め、DX推進員を中心にあらゆる業務にAIやRPA（ソフトウェアロボット）による業務自動化をはじめ、デジタルを駆使した業務改善に取り組めないか、常に問題意識を持つことが当たり前の風土づくりに努めていきたい。

そして、BPR（業務改革）を進め、住民の利便性向上と業務の効率化につながるサービスの提供を1つずつでも増やしていけるよう、スピード感を持って取り組んでいきたい。

給食無償化と食の質

問 物価高騰の中、給

食無償化で質・量の低下が懸念される。市独自の安定財源の確保を含め、質や品目数を維持・向上させる対策が必要だ。また、地産地消や有機食材の導入を推進し、安全で豊かな給食を実現すべき。市の見解を問う。

答 給食費の保護者負担額は、本市では据え置いているが、給食の質を確保するために、1食当たりにかかる食材料費には、物価高騰状況を反映した価格に随時引上げている。

国は給食無償化の方針を出しているが、詳細な内容については、まだ分かっていない。現時点では、来年度以降、食材料費の高騰等があった場合については、市費で補填するの、保護者に負担の増額をお願いするか、決まっていない状況だ。

山中良成 議員



RSウイルス感染症

問 須崎市ではRSウイルス感染症予防薬の乳児への投与費用の全額を助成するが、情報共有しているか問う。

答 須崎市に問い合わせたところ、1歳未満の乳児に1回、市内2か所の医療機関に委託して、来年度末までを期限に接種の助成を行うが、全国各地から同様の問い合わせがあり、ワクチンの金額は非公開にしているようだ。

問 RSウイルス感染症の予防接種の費用を助成する予定や考えはあるのか問う。

答 国の動向に添った対応をしていく予定だ。

問 来年度に向けて、予算計上を考えていた

だきたい。市長の政治的判断を聞く。

答 任意接種の費用助成は、国の動向を見ながら、より慎重に検討していく必要があると思っています。

ICT教育

問 不登校対策や特別支援教育への活用方法を問う。

答 リモートで授業に参加できる環境を整備し、学校へ来られなくても学びからの断絶を防ぐ体制を構築し、教育支援センターふれあいにもWiFi環境を整備し、端末を活用した学習が可能だ。

特別支援教育にも、字を書くことが困難な児童にはタイピングを活用することで負担を軽減している。さらに、読み上げアプリや動画教材の活用で、学習内容をより理解しやすくなる工夫がされている。

問 AI活用と将来ビ

ジョンを問う。

答 今年度は香南中学校と鳶ヶ池中学校で、県の指定による対話型AIを活用した学習支援実証研究事業を受けている。生徒は、家庭での学習中に分からない問題があった際に、対話型AIに質問することで即座に答えやヒントを得ることができ、学習の主体性を高める環境を整える、いわゆる個別チューターのような役割を果たすことができるのではないかと考えている。来年度以降は、この成果を検証し、AIを活用した学習環境を進めたい。

問 タイピングを重視すべき。検定取得を。

答 検定受検には費用が発生し、全児童生徒への一律実施は難しい。希望する児童生徒や家庭には、学校から検定制度の情報を提供し、個別にチャレンジできるように支援していく。

杉本 理 議員



マイナ救急消防本部
実証事業

問 マイナ救急のメリット、デメリットとは。

答 マイナ救急とは、救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、氏名や受診医療機関等、病院選定に資する情報を把握することで救急業務の円滑化を図る取組だ。国は、本年10月中には全ての消防本部で実証実験を開始するとし、本市へも3台の高規格救急車にタブレットとカードリーダーが国費で支給される。メリットは、傷病者の正確な情報取得による病院選定の時間短縮で、早期に病院に収容できるとしている。デメリットは、マイ

ナ保険証に情報をひもづけていないと使用できない、通信状況が悪い場所では読み込みができなかったり時間を要した、救急隊の作業が増えることにより慣れるまでは活動に時間がかかるようになったなどの情報が入っている。

問 普段の救急活動について説明を求める。

答 事故種別及び傷病者の状態により変わってくるが、例えば、外傷などの場合、全身の観察や止血などの処置を行う必要があり、1つ作業が増えることで時間がかかる場合がある。ただ、一刻を争う場合は傷病者の命を第一に処置及び搬送を優先し、病院到着後に傷病者の情報等詳細を確認し、病院等関係機関に伝えることもできる。

問 今回の取組をどのように知らせていくか。

答 ポスター掲示や市

戦争遺品展示

問 市主催の戦争遺品展示の内容を伺う。

答 今年は戦後80年という節目の年なので、市民が保管している戦争遺品をお借りし、10月25日から11月3日の10日間、地域交流センターMIA R E!で戦争企画展を開催する予定だ。10月26日には、ホールで戦後80年特別講演も予定している。

問 今後も継続して実施するのかを伺う。

答 節目の年度には時期を見て検討したい。

問 市民からの戦争遺品寄贈を受け付けるか。

答 要望があれば文化財係で対応するが、保管倉庫も狭く、適切な管理が可能か判断しながらの受入れとなる。

問 市民からの戦争遺品寄贈を受け付けるか。

答 要望があれば文化財係で対応するが、保管倉庫も狭く、適切な管理が可能か判断しながらの受入れとなる。

問 市民からの戦争遺品寄贈を受け付けるか。

答 要望があれば文化財係で対応するが、保管倉庫も狭く、適切な管理が可能か判断しながらの受入れとなる。

問 市民からの戦争遺品寄贈を受け付けるか。

答 要望があれば文化財係で対応するが、保管倉庫も狭く、適切な管理が可能か判断しながらの受入れとなる。

西内俊二 議員



就学前の発達健診
及び特別支援

問 こども家庭庁は、発達障害などを早期発見し、就学前に必要な支援につなげようと、5歳児健診の実施を求めている。市の考えは。

答 こども家庭センターでは、4か月児、10か月児、1歳8か月児、3歳6か月児の乳幼児健康診査を実施しており、新たに5歳児健診を導入する場合は、法定健康診査ではない4か月児健診を個別に医療機関に委託し、現行のサイクルに5歳児健診を導入するなどの調整が必要になる。

また、庁内での人員配置や保健師の確保、小児科医や臨床心理士

等、外部協力者である専門職の確保といった課題が出てくる。高齢化等により小児科医も県下の減少しており、県下の小児科医を確保するなど、広域的な実施体制も視野に入れなければならない。

国の義務化に向けて、5歳児健診の実施方法は今後も慎重に検討していく必要がある。

問 市に特別支援保育専門職員の専任配置を求める。

答 特別支援保育専門職員の専任配置により、きめ細かな支援ができると考えるが、今保育士として働いている職員を専任配置することについて、仕事内容と確認すべき事項もあり検討していきたい。

土佐のまほろば祭り

問 市民祭としてのまほろば祭りを守りながら、祭りのクオリティ向上、低予算化、市職

員の業務集中の観点から、イベント専門業者に委託することを検討してはどうか。

答 まほろば祭りの運営は、運営委員会が実施主体、商工観光課が事務局として様々な業務を遂行している。イベント経験のない職員が業務を通じて少しずつ経験を積みながら運営しているが、来場者数も1万人近くであり、準備の大変さもあるが、交通対策や安全対策など精神的な負担も大きい業務となっている。業務委託するには、仕様書の作成、必要な費用の積算や運営委員会をどうしていくのかなど、様々な課題があるが、職員が商工観光課の担うべき業務に集中できるので、業務委託の可能性を調査研究してみたい。

植田 豊議員



分散避難のため避難所の混雑を可視化

問 最寄りのどここの避難所が受入可能か、事前に確認できるシステムが必要だ。各避難所の混雑状況を可視化し、スムーズに分散避難できるように「避難所チェックインシステム」の導入を求める。

答 避難所混雑状況の可視化や受付の短時間化は、避難所での混乱を防ぐためにも重要だ。避難所の混雑状況の確認について本年度、国の新しい地方経済生活環境創生交付金（デジタル実装型）を活用し、災害対応システムを導入し、避難所情報公開機能を組み込む予定だ。この機能により、

開設中の避難所の混雑状況や利用者の現在地から避難所までの距離を表示し、近隣の施設へ誘導することなどが可能となる。

一方、チェックインシステムは、災害時の通信が途絶えた状況でも使用できる条件などを勘案しながら、現在検討している。今後必ず必要となるシステムだと考えており、早急に検討し、導入を目指していく。

新総合防災情報システム導入

問 官民の連携により、復旧活動の早期化を実現するために、内閣府の進める「新総合防災システム（SOBOWEB）」がある。各機関が収集・集約した情報を地図上で重ね合わせて表示できる同システム導入を求める。

答 4月から本格運用が開始されたこのシス

テムは、災害情報を地理空間情報として共有するもので、災害情報を俯瞰的に捉え、被害の全体像を把握することが可能となる。国、都道府県、全国の市町村、ライフライン事業者などの指定公共機関が被害状況を登録することにより、本市として取り得なかった被害情報なども確認できる。被災自治体だけでなく、国や全国の関係機関と情報共有が可能となるので、全国からのプッシュ型支援が期待でき、迅速な支援により災害関連死の防止にもつながるものではないかと考えている。

本市もアカウントを取得し、インターネット端末でシステムを使用できる状態となっている。今後、システムの活用研修が開催されるので、発災時に有効に活用できるよう、しっかり学んでいきたい。

斉藤正和議員



介護人材の定着

問 事業所等から人手不足に関する声がどのように寄せられているか伺う。

答 直接相談はないが、一般指導や集団指導の際等に、求人しても応募が来ないといった話を伺うことはある。

問 民間人材紹介会社の紹介手数料が施設経営に与える影響を問う。

答 人材確保が困難な状況で、たとえコストをかけても人材確保に手段を講じることは必要だが、高額な手数料は介護事業者の経営を圧迫することが危惧され、持続的に行うことは困難なのではないか。
問 職員定着のため、交流や情報共有の場と

して「介護カフェ」の導入を求める。

答 現在のところ介護カフェのような仕組みを導入する予定はないが、できれば高知市のこうち介護カフェに、市内の事業所の職員にも参加、見学などさせていただき、感想、意見を伺いたい。

小中学校の安全確保

問 校舎への不審者侵入防止対策状況を問う。

答 防犯カメラは、中学校3校と分校以外の全ての小中学校に設置され、令和7年度中には、未設置の3中学校にも設置予定だ。

学校の門扉は、3校にはなく、ある学校も遅れてくる児童生徒もいることや、学校サポーターとして地域の方が日常的に來られる学校も多いことから、施設まで行っていない。なお、インターホンは全校に設置されている。

問 現状では、不審者が自由に出入りできる状態が放置されている。対策の再検討を求める。

答 実際に玄関の施錠は難しいと考えている。警察関係者からのアドバイスは適宜受け、可能な対策は行っている。

問 不審者侵入を想定した訓練、頻度、見直し予定について問う。

答 各校作成の危機管理マニュアルを基に、ほとんどの小学校で毎年、小規模校では隔年で最低1回の不審者を想定した避難訓練を行うようにしている。中学校は、不審者対策の訓練は行っていないが、今年度は香南中学校で実施予定だ。

問 中学生への防犯訓練と安全教育の強化を。

答 定期的に不審者訓練を行うことは、今後他の中学校でも検討する必要がある。

有沢芳郎 議員



市街化調整区域の
問題点

問 高知大学医学部周辺の立地基準の規制緩和がされたが、許可件数が非常に少ない。高知大学医学部に勤務していることなどが条件となっていることが原因ではないか。

答 高知大学医学部周辺の自己用住宅の要件では、対象者は高知大学医学部の常勤職員に限るとなっており、常勤職員でなければ許可を得ることはできない。この要件での許可は、現在までに1件しかない。ので、厳しい制限だと感じている。

都市整備課が実施する人口動態調査では、周辺エリアは、規制緩

和のほか、従前からある線引き前宅地等の要件を活用した住宅立地の促進により、一定の人口増加や子育て世帯の流入といった効果が現れていると考える。

問 日章産業団地周辺に住宅は建つか問う。

答 規制緩和策を検討しつつ、周辺には既存集落等が存在するので、集落拠点周辺エリアの開発許可基準の運用や空き家等の活用を推進するとともに、狭隘道路解消など、生活インフラ充実を図りたい。

総合型地域スポーツ
クラブ登録認証

問 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度とは。

答 第3期スポーツ基本計画に基づき、全国的な総合型クラブの質的充実や向上を目的とした登録と、登録クラブが特徴を生かし、さらなる発展や成長を目

指すことを目的とした認証により、地域スポーツ環境の整備、発展に寄与を目指す制度だ。

問 第3期スポーツ基本計画とは。

答 今後のスポーツの在り方を見据え定めた、令和4年度から5年間で国等が取り組むべき施策や目標等の計画だ。

問 制度の効果とは。

答 行政が登録・認証クラブに支援や事業委託を行うことで、役割分担し地域課題の解決を促進しやすくなる。

問 香南中は生徒数が少ない。どんな部活動の在り方を目指すのか。

答 校区に総合型地域スポーツクラブまほろばクラブが存在する環境を生かし、ふだんの学校生活では得がたい新たな人間関係の構築や、多様な刺激を受けることで成長を促し、健全育成の礎となるような部活動の地域移行、地域展開を進めたい。

溝渕正晃 議員



防災対策

問 南国市国土強靱化地域計画の物資配送計画、分散備蓄、災害対応給油所について問う。

答 令和4年2月に南国市物資配送マニュアルを策定し、物資配送業務の体制、物資拠点の開設手順やレイアウト、物資配送ルート、手段、配送料などを詳細に決めており、物資配送に係る帳票等も定めている。

分散備蓄は、指定避難所となる小中学校、公民館を中心に市内24か所に進めている。発災直後から使用することを想定し、毛布、飲料水、発電機、投光器、ポータブルトイレ等を備蓄している。孤立が

想定される白木谷や奈路地区にも、指定避難所となる白木谷小学校、奈路小学校、奈路防災コミュニティセンターへ備蓄倉庫を整備し、備蓄を進めている。

農業振興

問 10年先の本市の農業を見据え、今後どういった農業振興に取り組んでいくことが重要か、市長の考えを伺う。

答 担い手不足など、農業を取り巻く様々な課題に対応し、農業者が持続的に経営を続けていくためには、国営圃場整備事業などの基盤整備を進めるとともに、圃場整備後の農地の担い手を考えていく上でも、集落営農法人など、地域を牽引する経営体を育成することは重要な課題だ。地域での組織化に向けた合意形成は、地域ごとの課題もあり、決して簡単ではないが、地域の意見を伺い、国や県の事業を活用しながら関係機関と連携して取り組んでいきたい。

問 舟入川河川改修の進捗について聞く。

答 県中央土木事務所に進捗状況を確認したところ、昨年度は、現地での踏査を重視し、河川の流下断面を検討する上での現況把握、コントロールするべきポイント抽出する調査を実施している。

本年度は、前回の調査を基に抽出した国道32号線、高知東道路直下の狭隘部分の断面検

松本信之助 議員



パートナーシップ
登録制度

問 パートナーシップ登録制度利用者は、結婚新生活支援補助金の対象に入っているか。

答 補助金の交付要綱に、婚姻届を提出し受理された夫婦であることと定めており、対象外となる。

問 高知市ではどういった対応になっているか。

答 高知市は、にじいろのまち宣言を行っているため、制度開始時にパートナーシップ登録者を外すような議論は一切していない。また、この制度では国の補助があるが、パートナーシップ登録者はこの補助の対象外である

ため、市の単独事業として補助をしているとのことだ。

問 本市もパートナーシップ登録制度利用者を結婚新生活支援補助金の対象とするべきだが、市長の考えを伺う。

答 パートナーシップ登録者を制度に加える方向で補助要綱改正も含め、検討したい。

公園整備

問 本市にもインクルーシブ公園の設置は必要だと思うが、市の考えを伺う。

答 年齢に関係なく、障害のある子供もいない子供も一緒に遊べる公園は、多様性を尊重する社会づくりの観点からも重要であると認識している。インクルーシブ公園の整備は、全体的子供たちの健やかな成長と保護者の安心感にもつながるものであり、今後の検討課題として重要と考えてい

る。

問 既存公園の遊具が少なくなってきた。

答 地域コミュニティの活性も踏まえて、市立公民館がある地区ごとに、遊具が充実した公園を1か所でも整備してもらえないか。

答 市立公民館がある地区に1か所でも遊具が充実した公園を設けるという提案については、非常に現実的で効果的な考え方と受け止めている。全ての公園に一律の整備は難しいものの、拠点的な場所に重点的に整備を進めることは、地域コミュニティの活性化に寄与するとともに、集落拠点への定住促進にもつながるものとも考えられるので、今後の公園整備に向けた検討に生かしていきたい。

松下直樹 議員



津波避難タワー

問 各地域で管理環境に差が見えるが。

答 継続的に防災意識を持つもらうために、日常の清掃などの管理は地域の自主防災組織にお願いしているが、建設から10年たち、共有していた思いが少しずつ形骸化した部分もあるのではないかと考えて建設当初の考えに立ち返り、管理等について自主防災組織と認識の共有を図りたい。

問 津波避難タワーでの高齢者の健康体操など、防災と健康づくりを合わせた取組を。

答 さわやか健康ウォーキングのコースに津波避難タワーを組み込み、防災クイズを行っ

たり、きらりフェアで「防災は健康から」のキャッチフレーズの下、啓発を行っている。

高齢者の健康体操は、まさに考え方がなうので、実施できないか関係部署と検討したい。

問 津波避難タワーのクラック調査を求める。

答 クラックは、対応が必要な場合の管理指針があり、必要に応じて点検等を行ってきた。今後、建築技師等とも協議し、定期的な点検を実施していく。

問 津波避難タワーを楽しい防災に活用してはどうか。

答 津波避難タワーを活用した防災イベントなどの開催は、大いに歓迎する。地区防災連合会なども協議し、イベント実施について検討する。

国営圃場整備事業

問 進捗と今後を伺う。

答 圃場整備工事が完

了した部分の久枝工区は登記申請中で、下島工区と能間工区では、換地処分及びその登記の準備を進めている。

現在工事を継続している浜改田西部工区、堀ノ内工区の工事に加え、着工予定の工区は、最終的な区画が確定した段階で、換地計画原案の作成や実施計画などの準備を進め、施工同意を得た工区から順次工事に着手予定だ。

問 大量の石が出た等の不具合がある。対応を伺う。

答 今回の不具合は、時間が限られており、やむを得ず応急的な対応の下、田植を行っていたことになった。今後は、稲刈り終了後に改めて圃場の状況を確認し、必要な対策は誠意を持って対応していく。関係機関と連携し、安心して営農を継続できるように、引き続き取り組む。

斉藤喜美子 議員



地域のつながりで
防災力向上を

問 自主防災組織も高齢化する中、次の世代の防災教育が早急に必要。中学生防災士養成の状況と今後の取組を問う。

答 中学生防災士の養成は、令和4年度から開始し、165名が防災士養成講座を受講し、99名が資格を取得した。今後、活動の場を設けていきたい。なお、本年度から、自信を持って家庭や地域、学校での防災活動を行うことを目的に、講座を受講した全ての中学生に「なんこく防災アンバサダー」の認定証とバッジを配布する。

問 市民に防災意識を

持つてもらう「なんこく防災家族会議の日」の周知に向け、プレゼントつきアンケートなどを実施してはどうか。

答 毎月21日、家族や地域、隣近所で防災について少しでも話題にすることで、防災力は大きく向上すると期待しており、この日をさらに広げるためのイベントやアンケート等、今後、検討する。

高知県消防広域化
基本構想

問 高知県でも消防広域化の議論が始まった。先行事例モデルとして奈良県があるが、本県との相違点を問う。

答 奈良広域消防組合消防本部は、県の約90%を管轄面積とし、消防広域化の先進地となっている。高知県と比較すると、管轄面積は半分以下で、管轄人口は17万人ほど多い。署所間の距離は比較的短

く、応援体制等、広域化によるメリットを生かすことのできる地域だと考える。

問 南国市では消防団との連携が欠かせない。広域化による職員処遇や消防団との関係に懸念はないか聞く。

答 組織を大きく変える取組に対し、職員の処遇を後回しにすることは、離職者等を招くおそれがあり、人員不足等により市民サービス低下につながるのではないか不安に感じるところだ。広域化前に処遇を決めるよう求めたい。火災等への対応など、消防団の存在は必要不可欠だ。東日本大震災以降、消防団と連携を密にし、地域防災力強化に努めてきたが、広域化により、発災時等の連携及び顔の見える関係が希薄化することもあると考えられ、地域防災力の低下につながるのではないか心配している。

神崎隆代 議員



連続テレビ小説
「あんぱん」

問 中小企業振興事業費補助金の昨年度の活用件数と、どのような商品が開発されたのか聞く。

答 中小企業振興事業費補助金におけるお土産品開発事業は、令和6年度5件の活用があった。開発された商品は、「ごめんしょうがパイ」や「メロンとあんこのぼうしパン」「メロンとあんこなしのぼうしパン」、ホットプを使った清涼飲料水「HOP TEA」、パンに合うあんこの「ほっこりシトラスレモンと小夏」「ほっこりシトラスさつまいもと小夏」「シヤモ番長の人

形焼き」となっている。

問 後免町を訪れた観光客に本市の豊富な歴史的資源にも関心を持ってもらうことも大切だ。どのように誘客していくのか伺う。

答 観光案内所に来られた観光客に対しては、後免町周辺のやなせ先生ゆかりの観光スポットの情報を提供しつつ、それらのスポットを巡るまち歩きガイドの活用をお勧めしている。

まち歩きガイドの中には、野中兼山など、後免町の由来につながる歴史にも触れているので、会話の流れの中で、紀貫之や国衙跡、長宗我部元親や岡豊城跡、国分寺や禅師峰寺とお遍路、戦争遺産としての掩体群などの情報提供やこれらを巡る各ガイドコースも、紹介できればと思う。

環境行政

問 本市の2030年CO2削減目標は達成できるのか問う。

答 2030年度の目標数値が2763トンCO2だが、令和6年度の数値が3487トンCO2なので、目標を達成するには厳しい状況である。

問 2050年のカーボンニュートラル達成に向け、航空分野のCO2削減が急務となっている。廃食用油のリサイクルで協力することについて所見を伺う。

答 四十万市では、市役所で回収した食用油を業者と連携してバイオディーゼル燃料に精製するリサイクルを県内で唯一行っていると聞いた。バイオディーゼル燃料は、軽油と比べてCO2排出量削減効果が見込め、可燃ごみの減少にもなるので、導入を検討していく。

常任委員会視察レポート

総務常任委員会

(5/14~15)

奈良県葛城市・
滋賀県草津市



高知県でも議論されている消防本部の県一化について、先進事例の奈良広域消防組合に参加している葛城市へお話を伺いに行きました。

奈良県では、平成21年に奈良県消防広域化協議会が設立され、奈

良市と生駒市が脱退後に広域消防組合が設立されています。

葛城市では、奈良県広域消防組合の設立経緯や管轄規模、署所配置状況、消防組合の課題などの説明を受けました。

広域化による住民に対するデメリットはないとのことでしたが、高知県と奈良県では相違点もあるので、今後丁寧な話し合いが必要と感じました。

草津市では、防犯カメラ設置の取組について説明を受けました。関西圏のベッドタウンとして住み良さランキング上位でありながら犯罪件数が多く、官民の取組により発生件数は減少したものの、その後も子供や女性への声かけ事案が多く、

市長の判断もあり抑止として設置が進んだそうです。

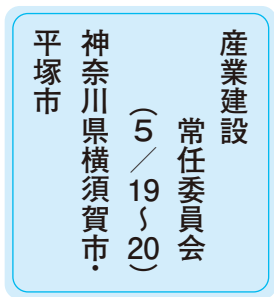
プライバシーに配慮しつつ、設置場所の工夫やハッキング防止の取組についても説明していただきました。

産業建設

常任委員会

(5/19~20)

神奈川県横須賀市・
平塚市



横須賀市では、自治体主導のeスポーツ振興について学びました。市内の高校生の部活

動に取り入れられ、全国大会も開催されるなど、地域活性化や若者の居場所づくりに役立てられています。また、ICT人材の育成や観光振興にもつながっており、南国市においても若者支援や地域産業の活性化に向けて参考になる取組だと感じま

した。

また、農福連携についての説明も受けました。特例子会社であるパースルダイバース株式会社との包括連携協定に基づき、農業分野における障害者雇用の促進と地域農業の生産性向上の両立を図る取組が進められており、これは新たなモデルケースになっているとのことでした。

平塚市では、障害の有無や年齢、性別、国籍にかかわらず、誰もが楽しく遊べるように設計されたインクルーシブ公園について視察



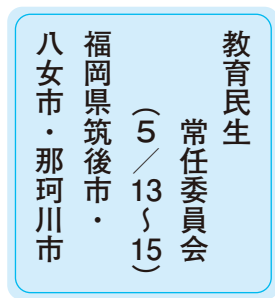
しました。実際に遊具が設置されている「平塚総合公園」を案内していただき、現地での取組を体感することができました。

教育民生

常任委員会

(5/13~15)

福岡県筑後市・
八女市・那珂川市



筑後市では、「図書館に付加価値を付けていくサービス展開」として、市立図書館長にお話しいただきました。福岡県で一番小さい図書館ですが、貸出冊数が10年間で約3倍。認知症カフェ、地域の課題解決や情報発信拠点機能、軽自動車の移動図書館、宅配サービス等、熱意や愛情をもって取り組むことで、図書館がこんなにも生き生きと輝くものかと感じました。

八女市では、重層的支援体制整備事業が令和4年度から実施されています。複雑化・複合化した福祉課題に対応するため、社会福祉協議会と協力の上、重層支援コーディネーターを中心に支援が行われていました。



那珂川市では、市民からの要望により「子どもの権利条例」策定の機運が高まり、子供、大人、審議会、議会それぞれで議論の上、同条例が制定されました。制定後も、様々な分野で子供の意見を取り入れたまちづくりが行われています。

議 決 結 果 一 覧 (6月定例会)

◆議 案

1号・令和7年度一般会計補正予算	可 決
2号・令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)	可 決
3号・人・農地プラン検討委員会設置条例を廃止する条例	可 決
4号・公園条例の一部を改正する条例	可 決
5号・税条例の一部を改正する条例	可 決
6号・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
7号・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
8号・監査委員条例の一部を改正する条例	可 決
9号・消防審議会条例の一部を改正する条例	可 決
10号・特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例	可 決
11号・市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可 決
12号・児童生徒教師用パソコン購入契約の締結について	可 決
13号・市立図書館建設工事建築主体工事請負契約を変更する契約の締結について	可 決
14号・市道の認定について	可 決
15号・普通財産の無償譲渡について	可 決
16号・人権擁護委員の推薦について	同 意

◆報 告

1号・令和6年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承 認
2号・令和7年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承 認
3号・税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承 認
4号・国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承 認
5号・令和6年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告
6号・令和6年度一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	報 告
7号・令和6年度水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報 告
8号・令和6年度下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報 告
9号・市営住宅明渡等請求訴訟の提起の専決処分の報告について	報 告
10号・市営住宅明渡等請求訴訟の提起の専決処分の報告について	報 告
11号・損害賠償の専決処分の報告について	報 告
12号・損害賠償の専決処分の報告について	報 告
13号・損害賠償の専決処分の報告について	報 告

◆議員提出議案(議発)※〔 〕内は提出者名

1号・事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書〔神崎隆代議員〕	可 決
2号・地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書〔神崎隆代議員〕	可 決
3号・米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書〔松下直樹議員〕	可 決
4号・米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書〔松下直樹議員〕	可 決
5号・給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書〔山本康博議員〕	可 決
6号・消費税減税、インボイス制度廃止で暮らしと営業を守る意見書〔杉本理議員〕	可 決
7号・国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書〔松本信之助議員〕	否 決
8号・年金積立金の運用改善と基礎年金の底上げを求める意見書〔杉本理議員〕	否 決
9号・地域の医療機関、介護施設、障害者福祉施設等へのさらなる物価高騰対策を求める意見書〔杉本理議員〕	否 決

賛否の分かれた議案等 ○賛成 ×反対 ー議長(議長は賛否に加わりません) 欠…欠席

議員名 議案番号	齊藤 正和	松下 直樹	松本信之助	西内 俊二	溝渕 正晃	山本 康博	齊藤喜美子	杉本 理	丁野 美香	西山 明彦	神崎 隆代	植田 豊	西本 良平	山中 良成	岩松 永治	土居 恒夫	有沢 芳郎	前田 学浩	岡崎 純男	今西 忠良	結果
議発5号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	可決
議発6号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	可決
議発7号	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	ー	×	×	×	×	○	否決
議発8号	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	ー	×	×	×	×	○	否決
議発9号	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	ー	×	×	×	×	○	否決

6月	5月	4月
25日／ 直轄高知海岸整備促進期成同盟会要望活動(国土交通省四国地方整備局)	28日／ 総会(東京都)	7日／ 市政連絡会
19日／ 議会運営委員会	20日／ 全国市議会議長会定期総会(東京都)	9日／ 高知県市議会議長会定期総会(高知市)
6日／ 第440回市議会定例会	19日／ 産業建設常任委員会行政視察(神奈川県横須賀市・平塚市)	11日／ 議会だより編集委員会
5日／ 議会運営委員会	15日／ 国営緊急農地再編整備事業要請活動(農林水産省ほか)	23日／ 四国市議会議長会定期総会(徳島市)
2日／ 市政連絡会	14日／ 総務常任委員会行政視察(奈良県葛城市・滋賀県草津市)	
	13日／ 教育民生常任委員会行政視察(福岡県筑後市・八女市・那珂川市)	
	8日／ 国営緊急農地再編整備事業提案活動(農林水産省中国四国農政局)	
	7日／ 市政連絡会	

議
会
日
誌

令和6年度 政務活動費の報告(詳細は市ホームページに掲載)

議員名	齊藤 正和	松下 直樹	松本信之助	西内 俊二	溝渕 正晃	山本 康博	齊藤喜美子	杉本 理	丁野 美香	西山 明彦
交付額(円)	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
使用額(円)	97,235	56,796	120,000	120,000	97,820	15,256	120,000	22,130	116,426	50,364
主な支出項目	調査研究費・研修費	研修費・資料購入費	広報費・資料作成費	調査研究費・研修費	研修費・資料購入費	研修費・資料購入費	研修費	研修費	調査研究費・資料作成費	資料購入費

神崎 隆代	植田 豊	西本 良平	山中 良成	岩松 永治	土居 恒夫	有沢 芳郎	前田 学浩	岡崎 純男	福田佐和子	今西 忠良
120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
91,530	120,000	67,786	120,000	74,300	56,095	120,000	114,800	55,110	0	120,000
研修費・資料購入費	調査研究費・資料購入費	調査研究費・資料購入費	調査研究費・研修費	調査研究費・資料購入費	調査研究費・資料購入費	研修費・広報費	研修費	資料購入費		資料購入費



【やなせライオン公園 の噴水】

今春開通した「南国市シンボルロード」の沿道にできた噴水のある「やなせライオン公園」。

公園には、やなせライオンのレプリカが設置され、その周りの噴水は、動きの小さい景観演出と、ウエーブやホップなどの動きの大きいムービング演出を交互に繰り返します。夕方（18時）からはライトアップもされて、JR後免駅と電車通りを結ぶ区間を明るく彩り、様々に変化する光と水音が、歩いて楽しい町を演出しています。

◆噴水の稼働時間

・午前9時から午後8時30分まで

※風速9メートル以上や雨天時などは、噴水が一時停止します。

※夜間は、近隣住民への配慮をお願いします。

なんごく歳時季

巻

29



編集後記

一昔前は異常気象と言われるほどの夏の暑さが、近年では毎年のように続いています。今年の梅雨も空梅雨で、暑い日々が続きました。命を守るためにも細かな水分補給はミネラルが入っている飲料がよいとも聞きます。また、適度に体を冷やすことも重要だと言われています。様々な工夫をして、この酷暑を乗り切っていきましょう。

近年は線状降水帯など、局地的な大雨での被害が多く出ています。命を守るために、さらに災害に強い南国市を目指し、議会で活発に議論していきたいと思います。

（松下）

◎市議会だより編集委員会

委員長	齊藤 喜美子
副委員長	松下 直樹
委員	齊藤 正和
〃	松本 信之助
〃	西山 明彦

● 6月定例会市議会の会議録は、8月末以降に市ホームページ（<https://www.city.nankoku.lg.jp>）、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。

● 次回の定例会は9月5日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。